

2-4-2-2 植物

重要な種の移植・播種の効果に不確実性があることから、移植・播種を実施した植物の生育状況の事後調査を実施した。

(1) 調査方法

現地調査（任意観察）により移植・播種を実施した植物の生育状況を確認した。

(2) 調査地点

現地調査地点は、移植・播種を実施した地点であり、対象は表 2-4-4 のとおりである。

表 2-4-4 移植・播種を実施した植物

種名	科名	移植・播種前の生育地	移植・播種の実施箇所	移植・播種の実施時期
フトボナギナタコウジュ	シソ科	豊丘村神稲	豊丘村神稲	平成28年11月7日 (播種)
センブリ	リンドウ科	豊丘村神稲	豊丘村神稲	平成28年11月7日 (播種) 平成29年4月21日 (移植)

(3) 調査期間

移植後の生育状況の現地調査は表 2-4-5 に示す時期に実施した。なお、移植後の生育状況調査は、移植作業後 1 か月以内及び移植後 1 年間は開花期と結実期 1 回ずつ、それ以降は移植後 3 年まで結実期（結実が地上から確認できないものは開花期）を基本に年 1 回実施することを基本として、専門家等の技術的助言を踏まえて調査期間を設定することとする。また、調査結果によって、専門家等の技術的助言を踏まえ、調査期間の見直しを検討する。

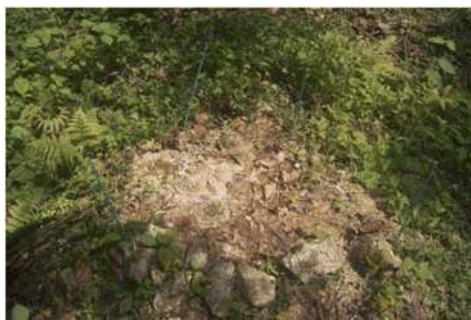
表 2-4-5 生育状況の現地調査の時期

調査地点	調査日
フトボナギナタコウジュ	平成29年 6月26日 平成29年10月10日 ～ 平成29年10月11日 平成29年11月15日 ～ 平成29年11月16日
センブリ	平成29年 4月21日、28日 平成29年 5月16日 平成29年10月10日 ～ 平成29年10月11日 平成29年11月15日 ～ 平成29年11月16日

(4) 移植・播種後の生育状況

①フトボナギナタコウジュ

播種後の生育状況（平成29年6月26日、10月10～11日、11月15～16日）では土砂による流失や動物による攪乱などは確認されなかったが、ケチジミザサが優占する状態となっており、確認の都度、除草・灌水を実施していたが発芽は確認されなかった。播種地周辺、元の生育地の踏査を行ったが、同種は確認されなかった。なお、未発芽の種子が発芽する可能性があるため、今後も生育状況を確認する予定である。



播種後の状況【発芽期】（播種地）
平成29年6月26日



播種後の生育状況【開花期】（播種地）
平成29年10月10日



播種後の生育状況【結実期】（播種地）
平成29年11月15日

②センブリ

移植後の生育状況（平成29年4月21日、28日、5月16日）では概ね良好な生育を確認していた。移植・播種後の生育状況（平成29年10月10日～11日、11月15日～16日）では移植箇所において花蕾を付けているものを確認したが、周りはケチジミザサが被圧していたため除草・灌水を行った。また、播種地においては発芽は確認されなかった。また、土砂による流失や動物による攪乱などは確認されなかった。なお、未発芽の種子が発芽する可能性があるため、今後も生育状況を確認する予定である。



移植直後の状況（移植地）
平成29年4月21日



移植後の生育状況（移植地）
平成29年4月28日



移植後の生育状況【開花期】（移植地）
平成29年10月10日



播種後の生育状況【開花期】（播種地）
平成29年10月10日



移植後の状況【開花期】（移植地 除草前）
平成29年10月10日



移植後の状況【開花期】（移植地 除草後）
平成29年10月10日